





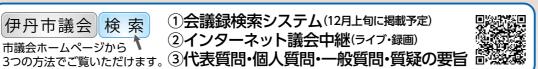


令和5年第4回定例会(8月31日~10月11日)では、各会派を代表して6人の議員が 会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。

その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードから ご覧いただけます。

伊丹市議会 検索 市議会ホームページから

①会議録検索システム(12月上旬に掲載予定) ②インターネット議会中継(ライブ・録画)



伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

●公明党

代表 篠原 光宏 北原 速男 (副議長) 竹村 和人 敏彦 永松 松浦 晴美 前田伸一郎

●新政会

代表 杉 — 泊 照彦 加藤 光博 (議長) 戸田 龍起 土井 秀勝 花田康次郎

●伊丹維新の会

真治 (監査委員) 代表 齊藤 大江 広人 森 華奈子 鈴木 隆広 直輝

●フォーラム伊丹

保田 憲司 代表 山薗 有理 大津留 求 岸田真佐人 高橋 あこ

創政会

代表 川井田清香 鈴木久美子 新内 善雄

統合新病院の開院に

日本共産党

服部 好廣 代表 加柴 扶美

会派に属さない議員

高塚 伴子



|向けた取組

向けた取組について伺う。



篠原 光宏 議員



せるとともに、医師もロボット支援手 術の資格を順調に取得している。また、 開設した遺伝子診療センターと臨床心 理センターの診療が充実したことで、 予防的切除術の施設要件を満たし、が んの発症前に乳房や卵巣を切除するリ スク低減手術を実施している。さらに、 統合新病院での救命救急センター設置 を見据え、救急科の専門医が、救急受入

ィンチ」を用いた手術の実施を充実さ

①地域がん診療連携拠点病院 として、手術支援ロボット「ダヴ

令和8年度の統合新病院開院

に向け、①市民に期待される、さ

らに質の高い医療体制を目指した現在

の取組状況、②医師・看護師等の確保に

避難所としての 学校体育館空調設備

夏の大規模災害発生時の避難 所生活では、劣悪な環境が予測 され、避難者の健康被害などが心配さ れる。市は、避難所整備の一環として、 令和5・6年度で、神津小学校体育館の 空調設備の整備・実証実験を予定して いるが、今後のスケジュールは。

れのあり方や考え方、人員配置の指導

現在、実施設計を終え、学校現 場を含め最終確認を行っている。 今後は、今年度中の竣工に向け設置工 事を進めていく。また、学校施設内の工 事となるため、児童の安全を最優先に

を行うことで、市消防局からの救急応 需率が増加している。②医師確保に向 けては、働きやすい勤務環境の整備に 取り組むとともに、関連大学との連携 強化等を継続して行う。また、看護師等 は、統合に向けて段階的に採用数を増 やしており、近畿中央病院の職員の採 用につながるよう連携を強化している。



統合新病院のイメージ図

取り組み、授業や行事等に影響がない よう、学校長をはじめ、学校運営協議会 の意見等も十分考慮し、工事を実施し ていく。なお、来年度は、夏季の稼働状 況を中心に、空調機器の性能や設置位 置等から使用目的に応じた快適性の検 証を行うとともに、ランニングコスト 等の状況を分析・検証する。







市長就任後、行財政改革を積

学校給食費や高校生通院 医療費の無償化の実施を ~令和4年度決算を踏まえ~

令和4年度決算から、財政は $|\mathbf{Q}|$ 潤沢とまでは言えないが、安定 性は高まったのではないかと考える。 今後、選ばれるまちに向けた取組をさ らに進める必要があると考えるが、未 来のための投資に係る政策、新たな次 の一手について伺う。

不登校・生きづらさを | 感じている子どもへの対応

国が取りまとめた、誰一人取 り残されない学びの保障に向け た不登校対策「COCOLOプラン」にあ るNPOやフリースクール等の施設と の連携強化の取組内容を伺う。

市長別は後、ロスラーへ、 極的に推進した結果、財政の健 全性は一定保たれていると認識してお り、財政調整基金・公債管理基金・公共 施設等整備保全基金・退職手当基金の 残高も合計約270億円と、当時の約4 倍まで増加した。現在、円安や物価上昇 など様々な変革に対応した財政運営が 求められており、未来への投資と将来 への備えのバランスを見極めて基金残 高の適正水準を検討していく。また、学

市教育委員会は、平成29年度 策定の市ガイドラインに基づき、 学校と施設が連携し、相互に協力・補完 し合いながら支援を行う取組をしてい るのかという視点を大切に、学校長と 市教育委員会事務局が視察及び協議し た上で、学校長が適切と判断する際に は、指導要録上の出席扱いを認めてい

校給食費無償化とこども医療費完全無 償化には、年間数億円の財源を安定的 に確保する必要があり、将来世代の負 担とならないよう行革努力も必要であ る。今後も国の子ども・子育て施策の動 向を注視し、世界経済情勢の変化によ る歳入歳出の増加も見込みつつ、次年 度の予算編成で検討する。



小学校給食中の様子

る。フリースクールでは、出席状況や学 習内容を定期的に学校と共有したり、 学校の行事予定や時間割などと合わせ て連携を図っている。また、教育支援セ ンター[やまびこ]との連携やICTなど を活用した学習活動などにより、児童・ 生徒一人ひとりの状況に適した多様な 学習機会の確保に努めている。



交通安全対策と



自転車事故を減らすための対 策と、市民を対象としたシニア カーや電動車いすに関するルールの周 知について伺う。

電動車いすの通行空間

命のペンダント ~申請方法と貸与までの期間~

市緊急通報システム事業(通 称[命のペンダント])の申請方 法及び機器設置までの期間を伺う。

本事業は、65歳以上のひとり 暮らし高齢者などを対象に、無 線発報機と受信機、自動通報機器を貸 与することで、自宅での急病や事故等 に備え、緊急時に迅速・適切に対応しよ

本市の自転車事故件数は、啓 発重点地点を指定し、街頭啓発 や車による巡回啓発等により減少傾向 が見られる。また、道路交通法では、い わゆるシニアカーを含む電動車いすを 通行させている者は歩行者とみなされ、 歩道のある道路では歩道を通行しなけ

うとするものである。あわせて、地域住 民同士の見守り合い活動の推進を目的 としており、顔の見える関係づくりが 可能となっている。申請希望者が地域・ 高年福祉課や市社会福祉協議会、地域 包括支援センターに連絡したのち、民 生委員・児童委員が希望者宅を訪問す るなど、適切に対応をしている。

また、申請後、機器が設置されるまで の期間については、民生委員・児童委員 が希望者に状況確認を行ったのち、申 請書を受理し、機器の設置・貸与に係る

ればならないとされていることから、 電動車いすに関する情報発信も一定必 要と認識しており、ルールについて周 知・啓発を図っていく。交通安全上の課 題は、幹線道路や生活道路、通学路とい った道路の種別、交差点などの道路形 状によるもの、また、歩行者、自転車と いった利用者目線により異なっており、 各箇所における交通特性や周辺状況な ど、現地の実情に応じて警察とも密に 連携し、ハード・ソフト両面からより効 果的な対策を引き続き実施していく。

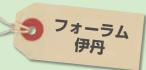
説明に至るまで、通常1か月程度必要 となる。なお、お急ぎの場合は可能な限 り期間の短縮について対応をしている。



命のペンダント

伊丹市議会だより 3 November.21, 2023 vol. 249

対応





山薗 有理 議員



本市からの要望内容、③県の堤防管理

5月8日未明に発生した天神 川堤防決壊に関して、①県の対 応、②天神川堤防強化事業の工事再開 に向け、県が開催する住民説明会への

天神川堤防決壊後の

市バスの運賃改定 ~交通事業会計の収益性確保~

交通事業の収益性確保の観点 から運賃改定を検討されている が、市使用料手数料等審議会での審議 内容について伺う。

審議会に、交通事業の健全な 運営を図るための経営のあり方 として、持続可能な事業運営に向けた 経営改善、適正な受益者負担のあり方、

に係る見直し内容について伺う。

①県は天神川氾濫災害調査委 合 員会で氾濫の原因を確認したの ち、被災者を対象とした住民説明会で、 補償額の算定基準を同委員会で策定し、

利用者サービスの向上の観点から、事 業継続に向けた企業努力の提案、運賃 改定の承認について諮問した。その結 果、コストに見合った料金設定は不可 避であり、約28年間料金改定をしてい ないことや、複数のバス事業者の運賃 改定状況を考慮すると、値上げはやむ を得ないとの提言が出され、令和6年2 月に改定を予定している。改定後も厳 しい経営状況が予想されるが、市交通 事業第4次アクションプランの着実な 進捗と、「みんなで市バスを守る」とい

スピード感を持って補償を進めること の説明を行った。今後、策定された補償 額の算定基準を基に、個別補償に入る と伺っている。②住民説明会の開催時 間帯を平日夜間に加えて、平日昼間の 時間帯にも行うなど、多くの住民が参 加できるよう調整する。③当面の間、平 常時は堤防の変状確認、亀裂の有無等 の点検を週1回行い、本市または宝塚 市に大雨・洪水注意報もしくは警報が 発表された際は、県職員・施行業者等が 待機し、現場巡視を行うと伺っている。

う意識を持ってもらえるよう、更なる 安全・安心・快適なサービスの提供に努 め、市民に愛される市営バスを目指し て、引き続き経営改善に取り組む。



試験運行中の電気バス



向けた進捗

白衛隊への

民間医療機関誘致に

~近畿中央病院跡地~

民間医療機関の誘致と、統合新病院との

連携について、現在の進捗状況を伺う。

適齢者名簿の提供

公立学校共済組合近畿中央病

適齢者名簿の提供は、個人情

自衛隊への募集対象者情報の

提供は、自衛隊法第97条第1項

報保護法第3条に反するととも

に、職業選択の自由や憲法第13条の幸

福追求権の侵害にもなりかねないと認

識しているが、市の見解を伺う。

院跡地への回復期機能を有する



服部 好廣 議員



合 員会において、回復期病院誘致

の基本的な考え方を議題として掲げ、

誘致に向けた本市と公立学校共済組合

の役割、スケジュール案の策定時期や

近隣住民への説明会実施の必要性等に

関して協議した。近隣住民への説明会

では、病院跡地の売却時期を含む、回復

及び同法施行令第120条に規定されて

いること、並びに、法定受託事務として

規定されているものである。また、個人

情報保護法第69条では、第三者への個

人情報の提供を制限しているが、同条

第1項で法令に基づく場合は例外とし

て認められており、自衛隊法施行令第

120条に規定されている当該事務は、

法令に基づく場合に該当し、問題ない

と認識している。提供している募集対

象者情報は、職業選択のための一つの

昨年11月に開催した統合委

割などを示していきたい。

期機能を有する民間医療機関の誘致に

関して、今後想定されるスケジュール

案や、統合新病院との連携の姿として、

誘致する民間医療機関に求められる役

市立伊丹病院と近畿中央病院の 統合再編に係る基本方針(概要版)

選択肢を情報提供しているだけで、職 業選択の自由を侵害するとは認識して いない。さらに、憲法第13条は、プライ バシー権も保護の対象であることは認 識しているが、自衛隊に提供している 情報は、個人情報保護法でも認められ ているものであるため、プライバシー 権との兼ね合いも個人情報保護法の制 定過程で当然考慮されているものと認 識しており、憲法第13条の侵害には当

たらないと認識している。

創政会

推進事業

見通し

の中で、強化すべき内容を伺う。

市バスの運賃改定による

収支均衡と累積欠損金の

令和6年2月予定の運賃改定

運賃改定は、普通運賃を現行

により、今後、収支均衡が図られ

るのか、また、累積欠損金の見通しは。

← の210円から230円に、他の券

種についても基本的に普通運賃ベース

での改定を予定している。改定による



川井田 清香 議員



未然防止や早期発見の取組を

いじめ・不登校総合対策 特に重視しており、未然防止の 取組では、自分の居場所がある学級・学 ~強化すべき支援内容~ 校づくりや、わかる授業の創造等、児童 不登校及びその傾向にある児 生徒の自己肯定感を高め、「学校が楽し 童生徒に対して行っている支援 い」「学校に行きたい」と思えるような

> 収益改善効果として、令和6年度以降 は、年間約1億円の運輸収益の改善を 見込んでいる。なお、運賃改定後、直ち に単年度で黒字となる状況にはならな いが、令和7年度で黒字への転換を見 込んでいる。また、累積欠損金は、令和 6年度までは単年度赤字が続くことか ら、増加傾向をたどる見込みを立てて いる。今後の乗車料収入の回復傾向や、 原油価格・物価高騰、人件費の増嵩など 社会状況に左右されることもあるが、

今回の運賃改定を予定どおり実施し、

魅力ある教育活動を展開することであ

る。昨年、改訂された生徒指導提要にお いても、発達支持的生徒指導や課題予 防的生徒指導という言葉で、改めてそ の重要性が示されている。また、早期発 見の取組では、児童生徒からのサイン を見逃さないための仕組みの構築や、 一部の教員で抱え込まず組織的な対応 ができる風土づくりなどが重要と考え る。このような未然防止や早期発見の 観点からも、いじめ・不登校総合対策推 進事業における各取組はそれぞれ重要 な役割を担っている。

市交通事業第4次アクションプランに 基づく費用の抑制を進めることで、単 年度ごとの収支改善に努め、累積欠損 金の縮小に向けて取り組んでいく。



運賃支払いの様子



公明党

北原 速男 議員

永松 敏彦 議員

松浦 晴美 議員

前田伸一郎 議員



● 「新型コロナウイルス感染症対応資金 | 所謂

「ゼロゼロ融資」返済◎救急搬送◎自転車ヘルメ

●いわゆる資源物持ち去り禁止条項施行後の状

●5類移行後の新型コロナウイルス感染症●在

●就学前施設利用予定の保護者への新たな支援

宅で医療ケアの必要な方への災害時対応





代表質問のほか、20人の議員が個人質問を行いました。 ここでは、質問の項目のみを紹介します。代表質問同様、詳細に



ット着用

合

Q



況●PETボトルの水平リサイクル





ついては、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



齊藤 真治 議員 ●地域社会における参画と協働のあり方●商業 の活性化

大江 広人 議員

教育職員等による児童生徒性暴力等南児童 くらぶの利用者増加に伴う施設整備事業

給木 降広 議員

■LINEを利用した「スマート広報」の導入検討 地域子育て支援拠点(むっくむっくルーム他)の おもちゃ等の充実

直輝 議員

保田 憲司 議員

大津留 求 議員

フォーラム伊丹

る市立伊丹病院の役割や機能

●不登校児童生徒を取り巻く状況●観光戦略

●子どもたちが安心してスポーツのできる環境

整備●新型コロナなど感染症の現状と求められ

●シルバー人材センターのインボイス対応●子

●不登校支援員●教育はアナログで●休校判断

どもの人権に特化した第三者機関創設

●ICT(情報通信技術)の活用

●パラスポーツの推進●看護師の人材確保策●

日本共産党伊丹市議会議員団 加柴 扶美 議員

創政会

鈴木久美子 議員

伊丹まち未来株式会社

新内 善雄 議員

●統合新病院に向けての、看護師、医師の確保の 状況●病床稼働率アップ、在院日数短縮とスム ーズな転院調整、回復期病院の誘致●不登校対 策と教師の働き方●学校教育の中での平和学習

🤼 会派に属さない議員

高塚 伴子 議員

●市内在住の外国人●市民力を地域活動に活か



泊 照彦 議員

新政会

●労働力不足の課題解決

●地域別拠点としての一時避難用防災センター 支所設置の必要性●豪雨対策●災害時に避難の 障害となる街路樹、本来あるべき植樹の在り方 ●駄六川の大掛かりな浚渫はいつ頃に実現する

加藤 光博 議員

●水道インフラの老朽化対策●新興感染症対策

土井 秀勝 議員

●新庁舎整備事業●ふるさと納税

花田康次郎 議員

●熱中症対策●出生率向上に向けた施策

を前日に●生活困窮者支援 高橋 あこ 議員

岸田真佐人 議員

●公立保育所・こども園等就学前施設における 先生の働き方





杳

令和5年第4回定例会では、 **議案は36件**でした。

ここでは、全議案と、これら の議案が付託された4つの委 員会の内容をご紹介します。

なお議案名の横に△とある のは、賛否が分かれた議案です。

各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。



総務政策常任委員会

○令和5年度 一般会計補正予算



20億6,381万5千円を追加補正

物価高騰による学校給食の食材費増加分の負担 軽減をはじめ、子育て支援の充実が図られます。

•物価高騰対策

価格高騰する学校給食の食材費について上昇分を 公費で負担し、保護者の負担軽減が図られます。ま た、物価高騰等の影響を受けている民間保育施設 等に対して支援金が支給されます。

・子育て支援の充実

公立保育所・認定こども園に保育システムを導入 し、保護者サービスの充実・職員の業務効率化が図 られます。また、保育需要が見込まれる地域で令和 7年4月に開園する、民間認可保育所の設置・運営 事業者を募集されます。

·新广舎整備

新庁舎整備に伴い、伐採するクスノキを活用した ベンチを作製し、旧庁舎跡地に整備する市民広場 に設置されます。また、大阪・関西万博の開催期間 には会場に設置し本市がPRされます。

その他の議案

○火災予防条例の一部改正



文教福祉常任委員会

- ○令和5年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- ○令和5年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- ○令和5年度 介護保険事業特別会計補正予算
- ○物品の取得(2件)
- ○丹波少年自然の家事務組合の解散に係る協議
- ○丹波少年自然の家事務組合の解散に伴う財産処分に係る
- ○丹波少年自然の家事務組合規約の変更に係る協議

都市企業常任委員会

- ○手数料条例の一部改正
- ○風致地区内における建築等の規制に関する条例の一 部改正
- ○空家等対策協議会条例の一部改正
- ○市道路線の認定
- ○令和4年度 水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- ○令和4年度 工業用水道事業会計未処分利益剰余金の
- ○令和4年度 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- ○令和4年度 モーターボート競走事業会計未処分利益

剰余金の処分

議会では本会議から 委員会に議案を付託して、 詳細な審査をするんだ。 3つの常任委員会と 分科会方式を導入した 決算審査特別委員会 で審査が行われたんだ。



決算審査特別委員会

○令和4年度 一般会計歳入歳出決算 A



一般会計決算規模は 歳入約945億円、歳出約934億円

令和4年度一般会計歳入決算額は944億8,723 万円で、前年度比31億2,928万円減(3.2%減)と なっています。市税は給与収入・営業所得の増等 による市民税の増、新型コロナウイルス感染症に 係る軽減措置の終了や家屋の新増築等による固 定資産税の増等により約8.9億円増加しました。 国庫支出金は、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急 支援給付金事業費補助や新型コロナウイルス感 染症対応地方創生臨時交付金の増等の一方、子育 て世帯臨時特別給付金事業費補助や非課税世帯 等臨時特別給付金事業費補助、新型コロナワクチ ン接種関係の事業費補助の減等により約30.9億 円減少しています。市債は新保健センター等複合 化施設整備事業や新庁舎整備事業の増等の一方、 臨時財政対策債や文化施設等整備事業、認定こど も
東備事業の減等により約34億円減少してい ます。

また、一般会計歳出決算額は933億9,588万円 で、前年度比21億4,786万円減(2.2%減)となっ ています。扶助費は電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金、保育所保育委託料、障害児通所 給付費・措置費の増の一方、子育て世帯臨時特別 給付金や住民税非課税世帯等臨時特別給付金の 減等により、約24億円減少しました。普通建設事 業費は新庁舎等整備事業の増の一方、美術館整備 事業、認定こども園整備事業の減等により約8.4 億円減少しました。補助費等は統合新病院整備事 業に伴う病院事業会計への補助や水道基本料金 及び下水道基本使用料減免事業に係る水道・下水 道事業会計への補助、設備等導入補助金の増等に より約35.9億円増加しています。

その他の議案

○令和4年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

○令和4年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算 ○令和4年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算

鴻池財産区特別会計歳入歳出決算 ○令和4年度 ○令和4年度 荒牧財産区特別会計歳入歳出決算

○令和4年度 新田中野財産区特別会計歳入歳出決算

○令和4年度 病院事業会計決算

○令和4年度 水道事業会計決算 ○令和4年度 工業用水道事業会計決算

○令和4年度 下水道事業会計決算

○令和4年度 交通事業会計決算

○令和4年度 モーターボート競走事業会計決算







文教福祉分科会(9月26日・27日)



都市企業分科会(9月28日・29日)

構成員

構成員 泊座長

杉分科員

服部分科員

新内分科員

鈴木(久)座長 篠原分科員 花田分科員 前田分科員

岸田副座長 高橋分科員 加柴分科員 森分科員

山薗副座長 北原分科員

大津留分科員

土井分科員

大江副座長

保田分科員

松浦分科員

鈴木(隆)分科員

構成員 永松座長 加藤分科昌 高塚分科昌 川井田分科員 原分科員

委員会付託なし

- ○庁舎外構整備他工事の請負契約
- ○市営堀池団地1~3号館外壁及び屋上防水改修工事の 請負契約
- ○小型水槽付消防ポンプ自動車製造の請負契約
- ○(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)道路改良工事の請負 契約の一部変更契約
- 公平委員会委員の選任





議案は、委員会審査のあ と本会議で議決されます。





第4回定例会の議案36件 全てが**可決・認定**されまし



土井 秀勝

花田康次郎

 \bigcirc

 \bigcirc

賛 否 の 分 か れ た 議 案

今和4年度 一般会計歲入歲出決算			
会派名 議員名	A		
公明党	認定		
北原・速男	0		
篠原 光宏	0		
竹村 和人 (副議長)	0		
永松 敏彦	0		
松浦 晴美	0		
前田伸一郎	0		
新政会			
泊 照彦	0		
加藤 光博	0		
杉	0		
戸田 龍起 (議長)	_		

伊丹維新の会	
齊藤 真治 (監査委員)	0
大江 広人	0
森 華奈子	0
鈴木 隆広	0
原 直輝	0
7 + = 1/30	
フォーラム伊丹	

フォーフムデガ	
保田憲司	0
山薗有理	0
大津留 求	0
岸田真佐人	0
高橋 あこ	0

創政会		
川井田清	*	0
鈴木久美	子	0
新内 善	進	0

日本共産党伊丹市議会議員団	
服部 好廣	×
加柴 扶美	×

会派に属さな	ハ議員	
高塚 伴子		0

○…賛成 ×…反対 一…議長は表決に加わりません。



9月定例会において、次の方に 同意しました。(敬称略)

▽公平委員会委員

菊井 康夫

市議会からのお知らせ

議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。) に対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなど の寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ 状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すこ とが、公職選挙法により禁止されています。また、議 員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。 公正な政治活動をしていくために、ご理解とご協力 をお願いいたします。

本会議・委員会での質問及び答弁は、 市議会ホームページから ご覧いただけます。





アプリ「マチイロ」で 伊丹市議会だより をご覧頂けます





※アプリのダウンロード・利用は無料ですが、通信費 は利用者負担になります。また、アプリの管理は運 営会社によるものです。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティア グループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよ りを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター (アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 **☎**072-780-2897

議長は、伊丹市議会を代表して 広域的な会議などへの出席や、様々な 行政課題の解決に向け取り組んでいます。 (副議長が議長に代わって職務を行うことも あります。)ここでは、その一部を紹介します。

阪神市議会議長会「知事との懇談会」

令和5年10月19日に、阪神市議会議長会「知事との懇 談会」が開催され、戸田龍起議長が出席しました。

今回の懇談会では本市議会から、「市立伊丹病院の統合

再編に係る財 政支援」「県と 連携した観光 ツーリズムの 振興」につい て、要望を行 いました。



会	議	ന	予	定
Δ	哦	v	J	ᇨ

=			ZK		<u> </u>	
11/26	27	28	29	30	12/1	2
	議会運営委員会			(es	第5回定例会 本会議招集日 議員総会	
3	4	5	6	7	8	9
			本会議第2日	本会議第3日	本会議第4日	
10	11	12	13	14	15	16
	議会運営委員会本会議第5日一般質問。議案質疑		総務政策常任委員会	文教福祉常任委員会	都市企業常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
					議会運営委員会本会議最終日 議員総会	

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行:伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階) **☎**072-780-4090 **☎**072-784-8092 **ଢ**http://www.city.itami.lg.jp/ 伊丹市議会だよりは86,000部作成し、印刷費は1部あたり7.98円です。